

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fanming@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
中国語の発音の習得を目標とします。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
身につく中国語コミュニケーション入門編 范建明著（生協で買ってください。）

【授業内容とその進め方】
この授業は、まず発音に重点を置きます。発音習得段階では特に21個の子音と36個の母音及び4種類の声調を身につけなければなりません。これを習得すれば、中国語のあらゆる漢字を発音することができます。発音段階が終わったら、簡単な会話の勉強に進みます。夏休みまではそんなに会話をたくさん勉強することはできませんが、それを通して発音を固めながら、中国語の基礎文法を少しずつ学びます。毎回必ず予習復習してから授業に臨んでください。小テストと宿題は基本的毎回有ります。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

但し、成績は中国語第一と中国語第二を総合して2月に出します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日の1300～15:00の間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

中国語を学ぶのは中国語脳をつくることです。中国語脳ができたときは中国語を自由に使える日です。問題は作り方です。私の方法はトレーニングです。中国語の発音も、基本語彙も、基礎文法も繰り返しの訓練によって中国語脳をすこしずつ作り上げます。ですから、授業は発音練習・朗読・暗記、普段は予習復習を重視します。

私について中国語脳をつくってみましょうか。

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！